

Maia XC

ユーザーマニュアル

Welcome

MAIA_{XC}



Thank you for choosing a AETHRA[®] SpA. Product.
Inside you will find useful information to help you get the most out of the Aethra product.
The information contained in this document is the property of Aethra SpA., it is subject to
change without notice and it shall in no way be binding for Aethra SpA
© Copyright Aethra Telecomunicazioni SpA 2008.

MS, Microsoft and NetMeeting are registered trade marks of Microsoft Corporation. Windows
is a trade mark of Microsoft Corporation.

All rights reserved.

INDEX

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

- ・ 製品内部には、電気ショックを発生し、高電圧やその他の危険に晒される箇所もありますのでカバーをあけないでください。
- ・ 製品のすぐ近くの、簡単に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。ケーブル、コードなど絶対に改造しないでください。
- ・ この製品は精密機械ですので、操作するときは静電気が起こらないよう放電しながら電子部品等を取り扱ってください。
- ・ 安全のため、メーカー提供された電源コード、ACアダプタ以外は使用しないでください。
- ・ 急激な室温の変化によって結露する恐れがあります。結露防止のために、このような場合は電源コードを接続する前に最低2時間以上、時間を置いてください。
- ・ 製品から出火した際、消火に水は使わないでください。
- ・ 万が一、製品に液体がかかった場合は、直ちにコンセントから電源コードを抜き、お求め先担当者へご連絡ください。
- ・ ご不明な点がございましたら、お求め先担当者へお問合せください。
- ・ お問合せの際、コンセントは抜いた状態にしてください。

クリーニング方法

- ・ 手入れ方法: やわらかい乾いた布、または薄めた洗剤を湿らせられた布で外部を拭いてください。アルコール系、ガソリン系の溶剤は絶対に使用しないでください。

製品の特長

- IP(H323)、SIP 対応
- POTS(アナログ公衆回線網) 対応
- その他ドキュメントカメラ接続可能 (*次期バージョン以降対応予定)
- マルチメディアサポート T.120
- エコーキャンセラ Full-duplex
- オートノイズリダクション
- 遠隔診断と管理

製品同梱物

- Maia XC 本体
- 受話器
- 電源ケーブル
- AC アダプタ
- 音声・映像ケーブル
- LAN ケーブル
- ユーザーマニュアル CD

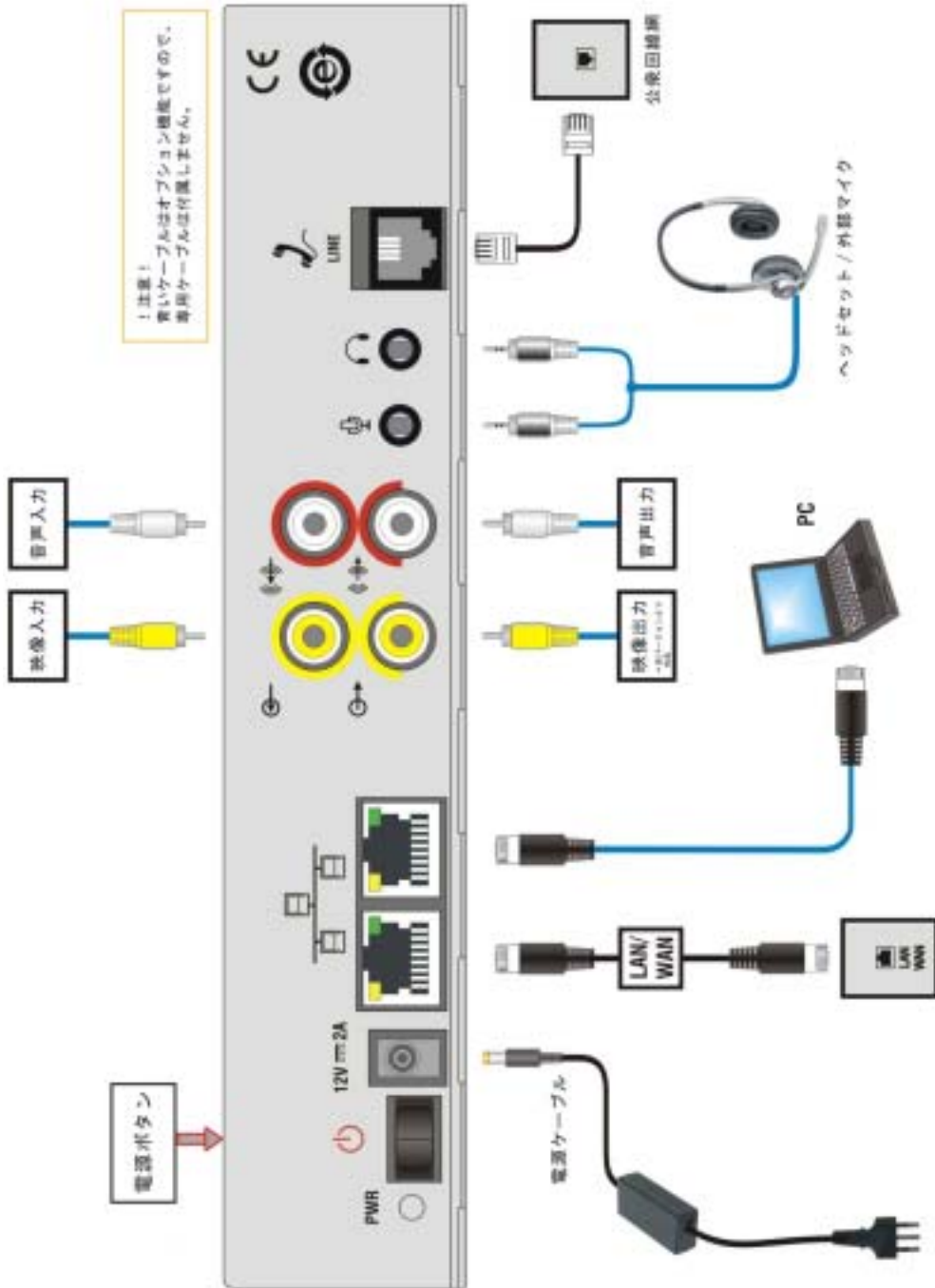
キーパッドボタン

Key	機能説明
	英数字 (10 キー) <ul style="list-style-type: none"> 英数字の入力図表をご参照ください
MUTE	音声ミュートの開始/終了
HANDSFREE	ハンズフリー機能の設定/解除 着信許可 <ul style="list-style-type: none"> 着信中に押す … 着信を許可します 発信したいときに押す … 発信画面へ移動します 切断機能 <ul style="list-style-type: none"> 切断するときに押します *LED 点灯中は常時ハンズフリーモードです
PRIVACY	映像カット機能 <ul style="list-style-type: none"> 自拠点の映像がカットされ、映像プライバシー画像を代わりに相手先に表示します *LEDが点灯中は常時映像カット機能が設定中です
VOL+ / VOL-	音量の調節
HEADSET	外付けヘッドセット機能 <ul style="list-style-type: none"> ヘッドセットを使用する場合、このボタンを押します
SELFVIEW	自拠点映像の表示/非表示
MENU	このボタンを押すと、メインメニューを表示します
DIRECTORY	アドレス帳の表示
PIP	子画面の表示/非表示 (指定がない場合は左上に表示されます) <ul style="list-style-type: none"> このボタンを押し、PIP(子画面)を移動できます
HELP	ヘルプの表示/非表示 <ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアバージョン、通信状態の確認など
DEL	入力文字の削除
	矢印 <ul style="list-style-type: none"> メニュー操作
	OK <ul style="list-style-type: none"> 選択の確認

英数字(10 キー)入力のボタン説明

ボタン	入力文字・記号						
1	1						
2	2	a	b	c			
3	3	d	e	f			
4	4	g	h	i			
5	5	j	k	l			
6	6	m	n	o			
7	7	p	q	r	s		
8	8	t	u	v			
9	9	w	x	y	z		
*	.	*	_	=	-	+	
0	0	スペース					
#	#	@	.	'	`	?	!
	()	/	:	_	;	;
	&	%	*	=	<	>	{
	}		~	^		-	

ケーブル設置図



テレビ会議前のアドバイス

テレビ会議を快適に運用するために、以下の点にご注意ください。

会議の調整

- テレビ会議事前の確認事項
 - ・相手先接続情報(IP アドレス、電話番号)
 - ・部屋の明るさ調整
- 実際の会議のように自然なジェスチャーを心がけます

映像の調整

- 自然光、および照明の同時使用は避けてください
- スポットライトなど光の直射は避けてください
- 背景に可動性の物は映らないようにします
- できるだけ使用者が大きく映るようにカメラを調節します

音声の調整

- テーブルや本体をを叩いたり、書類で雑音をださないようにしてください
- 通常の声の大きさと話してください

設置と設定

! 全ての作業が完了するまで、システムの電源を入れないでください。
--

- 本体側面のボタンをおしながらスタンドバーをたて、モニタを見やすい角度にあわせませ
- 受話器を接続します
- LAN ケーブルを接続します
- 電源ケーブルを接続します
- 本体の電源をいれます
- メインメニューが映るまで待ちます

本体右上の赤いライトでシステム状態を確認できます。

点灯: システム起動中

点滅: スタンバイモード

消灯: システム電源オフ

メニューマップ

メインメニュー

- ◆ Videophone - 発信 / Recall / Tools / 設定
- ◆ Addresss Book
- ◆ Internet
- ◆ Mail
- ◆ Chat
- ◆ Photo Viewer
- ◆ File Manager
- ◆ Keyboard

ユーザー

- ・コントロールパネル - スクリーンセーバー
- ・発着信設定 - 設定
- ・日付と時刻
- ・システム情報

管理者

- ・プロトコル設定
- ・通信設定
 - IP 設定
 - Address
 - ダイナミックポート
 - NAT
 - QoS
 - スピード
 - H.323 設定
 - SIP 設定
- ・ロケーション設定
- ・設定の初期化
- ・パスワード

使用方法

この章では、本製品の使用方法(受発信など)について説明します。
正しく配線していれば、電源をいれるとメインメニューが映ります。

電源を入れる

初めて電源を入れた時は、メニュー表示が英語に設定されていますので日本語に変更します。

メインメニューより以下へ進みます。

1. 設定
 2. 管理者 *パスワード入力
 3. ロケーション設定
- システム名:システム名を入力します
 - 国:「Japan」を選択してください
 - 言語:メニュー表示の言語を選択します
 - 音声プロトコル:「U.S.A」に設定します
 - 映像規格:「NTSC/日本」に設定します
 - トーン音の選択:「日本標準音」に設定します


設定が終わったらファンクションキーの「保存」を押し、入力した情報を保存します。

IP アドレスを設定する

ご使用になる前に、IP アドレスの設定をおこないます。
メインメニューより以下へ進みます。

1. 設定
2. 管理者 (*パスワード入力 デフォルト:1234)
3. 通信設定

詳しい設定方法は、IP 設定のページ(P.16)をご参照ください。

IP アドレス設定後、ネットワークが正しく接続されていない場合は、モニタに  アイコンが表示されます。
その場合は、ネットワークケーブルが正しく接続されているかまたはネットワーク状態をご確認ください。

発信方法

発信方法は 3 通りあります。

- 番号入力発信 (IP アドレス/電話番号を直接入力)
- アドレス帳選択 (アドレス帳から選択)
- 発着信履歴選択 (発着信履歴から選択)

番号入力発信

番号入力発信には通話方法により、3通りの方法があります。

- **受話器で通話する**
電話と同じように、受話器をとります。
発信画面が表示されるので、キーパッドボタンで接続先の IP アドレスまたは電話番号/ネットワーク/帯域を選択し、発信ボタンを押してください。
- **ハンズフリーで通話する**
「HANDSFREE」ボタンを押します。
発信画面が表示されるので、キーパッドボタンで接続先の IP アドレスまたは電話番号/ネットワーク/帯域を選択し、発信ボタンを押します。
- **ヘッドセットや外部マイクを接続して通話する**
「HEADSET」ボタンを押します。
発信画面が表示されるので、キーパッドボタンで接続先の IP アドレスまたは電話番号/ネットワーク/帯域を選択し、発信ボタンを押してください。

アドレス帳から発信

「DIRECTORY」ボタンをおします。

アドレス帳に登録してある中から、矢印ボタンで接続先を選択し、発信ボタンを押してください。

発着信履歴から発信

ファンクションキー「Recall」ボタンを押すと、直近で着信・発信した番号が表示されます。

矢印ボタンで接続したい履歴を選択し、「OK」ボタンを押してください。

受信方法

着信時、画面に着信メッセージが表示され、本体右上の青いライトが点滅します。

手動で受信、または、発着信設定画面で「自動着信」に設定しておくことができます。

受信するには、3通りの方法があります。

- 受話器をとり、通話する
- 「HANDSFREE」ボタンを押し、ハンズフリーで通話する
- 「HEADSET」ボタンを押し、ヘッドセットまたは外部マイクで通話する

切断方法

切断する場合は、受話器を置く、または「HANDSFREE」、「HEADSET」ボタン、ファンクションキーの切断ボタンを押してください。

!	通話中でも、受話器・ハンズフリー・ヘッドセットまたは外部マイクへ切り替えることができます。
---	---

アドレス帳の利用

システムのアドレス帳やリモートサーバー(LDAP H.350)に、接続拠点の情報を保存できます。

新規登録方法

「DIRECTORY」ボタンを押しAddress Book画面へ移動します。ファンクションキーの「Add」を押し、新規登録画面へ移動します。

新規登録拠点の情報を英数字ボタンで入力します。

- First Name (名)
- Last Name (姓)
- Type (通信ネットワークの種類)
- Company (会社名)
- Number (IPアドレスまたは電話番号)
- Alias (エリアスネーム)
- E.164
- Speech *音声会議の場合はチェックをいれてください。
- Rate(接続帯域:64~768kbpsから選択)

ファンクションキー「Save」を押すと、登録内容を保存できます。

ファンクションキー「Cancel」を押すと、入力した情報を登録せず、アドレス帳ページに戻ります。

登録情報の編集

アドレス帳の編集

1. 「DIRECTORY」ボタンでアドレス帳をひらきます。
2. アドレス帳をひらき、編集したい登録情報を矢印ボタンで選択し、ファンクションキーの「Edit」を押します。
3. カーソルを移動させ、編集します。
4. 編集し終わったらファンクションキーの「Save」を押し、保存します。
「Cancel」を押すと、編集せず前の画面へ戻ります。


登録の削除

1. 矢印ボタンでカーソルを移動し削除したい登録情報を選択します。
2. 「DEL」を押します。
3. 削除確認メッセージが表示されます。削除したい場合は「OK」、削除をキャンセルする場合は「Cancel」を選択します。

映像ミュート


自拠点映像の通信停止

通信中、「PRIVACY」を押すと自分の映像が接続拠点に映らなくなります。

モニタに  アイコンが表示されます。
解除するときは再度同じボタンを押してください。

音声設定

キーパットの VOL+ / VOL- ボタンで、受信音の音量調節ができます。
「MUTE」ボタンを押すと、通信中でも自拠点の音声カット(ミュート/マイクオフ)ができます。

モニタに  アイコンが表示されます。
音声カットを解除するには、もう一度「MUTE」ボタンを押します。

Maia XC の設定

この章では、システムの設定方法を説明します。設定条件の中には、通信切断状態でしか変更できないものもあります。

ユーザー設定

メインメニューより以下へ進みます。

1. 設定
2. ユーザー

ユーザーでは、以下の操作設定ができます。

- コントロールパネル
- 発着信設定
- 日付と時刻
- システム情報

コントロールパネル



スクリーンセーバー

スクリーンセーバー機能を設定/解除することができます。
また、タイムアウト設定をすることもできます。

発着信設定

設定

以下の機能の設定ができます。

- **起動時マイクミュート**
起動直後、自動でマイクをミュートします。
マイクミュートのアイコンは常にモニタに表示されます。
1対1接続のときは接続拠点モニタにも表示されます。
- **着信拒否設定**
起動直後およびテレビ会議終了後に、相手からかかってきても着信しないようにします。
モニタに  アイコンが表示されます。
テレビ会議システムから発信の発信拠点先には「着信拒否」と表示されます。
メインメニューのファンクションキー「Tool」でも設定および設定解除ができます。
- **接続時自動映像ミュート**
着信時、接続拠点には自拠点映像が送信されなくなります。
モニタに  このアイコンが表示されます。
接続していないときでも、常に映像ミュートが起動します。
- **切断確認の表示**
切断時の確認メッセージの表示の有無

- **自動着信**

設定した呼び出し回数後に自動着信します。

- **日付と時刻**

日付および時計の設定ができます。

- **システム情報**

MAC アドレス、インストールされているソフトウェアバージョンなど、製品情報を確認できます。

管理者設定

メインメニューより以下へ進みます。

1. 設定
2. 管理者 (パスワード入力)

管理者では、以下の操作設定ができます。

- プロトコル設定
- 通信設定
- ロケーション設定
- 設定の初期化
- パスワード

プロトコル設定

この画面では以下の設定ができます。

- **スピード**
64kbps～768kbps (IP)
- **音声プロトコル**
<auto>、G.728、G.722、G722.1、G.711
- **映像プロトコル**
<auto>、H.263、H.263 QCIF、H.264、H.264 QCIF、H.261、H.261QCIF
- G.722.1
- H.264
- H.263 Annexes +/-

!

音声プロトコル、映像プロトコルを<auto>に設定すると、そのときの接続環境に適したプロトコルに自動設定されますが、G.722.1、H.264、H.263 Annexes +/- にチェックをいれると優先して接続します。

通信設定

この画面では以下の設定ができます。

- IP 設定
- H.323 設定
- SIP 設定

IP 設定

この画面では、有線 LAN の設定を行います。以下の設定ができます。

- Address
- ダイナミックポート
- NAT
- QoS
- スピード

Address

初期値は、自動設定(=DHCP)です。手動でも IP アドレスを設定できます。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- DNS サーバー

ダイナミックポート

動的に割り当てられる TCP ポートと UDP ポートの範囲設定ができます。

NAT

NAT の設定、種類、WAN 側 IP アドレス、確認頻度など、NAT の使用に必要な設定ができます。

!	ファイアウォールを通過する場合、ファイアウォール管理者は双方向の IP 通信を許容するためにダイナミック TCP/UDP ポートを開ける必要があります。それとは別に接続用としてプロトコル(TCP1720(Q.931)、TCP1503(T.120)、UDP1719、UDP1718(RAS))も開けてください。
---	--

QoS

QoS の設定および、以下の設定ができます。

QoS:Precedence / TOS / DiffServ

音声/映像/データ/シグナル

TOS:Normal / Minimize Delay / Maximize Throughput / Maximize Reliability

Precedence:0-Rutine / 1-Priority / 2-Immediate / 3-Flash / 4-Flash Override /

5-CRITIC/ECP / 6-Internet. Control / 7-Network control

!	この設定をする時はネットワーク管理者にご相談ください。
---	-----------------------------

H.323 設定

H.323 プロトコルを利用したシステムに必須の以下のオプション設定を含みます。

- H.323 エリアスネーム
- E.164 エリアス
- ゲートキーパーの使用
- 詳細
- H.460 機能
- NetMeeting の使用

H.323 エリアスネーム

(H.323 ID)ゲートキーパーに登録する端末のエリアスネーム

E.164 エリアス

(E.164)ゲートキーパーに登録する端末識別番号

ゲートキーパーの使用

自動設定:自動でゲートキーパーを探します。

IP アドレス:ゲートキーパーのアドレスを手動設定します。

詳細

登録するタイミングを変更することができます。

通常は「Auto Registration」にチェックを入れてください。

NetMeeting の使用

チェックをいれると T.120 を利用できます。

この機能を有効にするには、

1. 「NetMeeting の使用」にチェックをいれます。
2. アプリケーションを提供している T.120 サーバーの IP アドレスを入力します。

!	この設定をする時はネットワーク管理者にご相談ください。
---	-----------------------------

SIP 設定

SIP プロトコルを使用するオプション設定を含みます。

名前: 端末の名前

パスワード: 端末のパスワード

- **レジスター設定**

SIP レジスターサーバーで稼動している端末の登録

- **サーバー**

レジスターサーバーの IP アドレスを入力します

- **プロキシ設定**

IP Address: Proxy Server の IP アドレスを入力します

- **サーバー**

プロキシサーバーの IP アドレスを入力します

!	この設定をする時はネットワーク管理者にご相談ください。
---	-----------------------------

ロケーション設定

メインメニューから以下のように進みます。

1. 設定
2. 管理者(パスワード入力)
3. ロケーション設定

ここでは、以下の設定ができます。

- **システム名** : システム名を入力します
- **国** : 「JAPAN」を選択します。国を選択すると番号が自動的に付与されます
- **言語** : 希望する言語を選択します
- **音声プロトコル** : 「USA」を選択します
- **映像規格** : 規格(NTSC)を選択します
- **トーン音の選択** : 「日本標準音」を選択します

設定の初期化

メインメニューから以下のように進みます。

1. 設定
2. 管理者(パスワード入力)
3. 設定の初期化

初期化には以下の2つのオプションがあります。

- User settings : ユーザー設定のみ初期化する
- Factory Settings : 全ての設定を初期化する

プルダウンメニューから希望するオプションを選択すると、確認メッセージが表示されるので、ファンクションキーの「OK」ボタンを押します。

全ての説明を注意深く読んでください。

「全ての設定」を選択した場合、確認のための警告画面が表示されます。

承認すると、工場出荷時の設定が読み込まれます。

発着信履歴、アドレス帳および設定しているIPアドレスなど全てのデータは消去されてしまうのでご注意ください。

パスワード

この画面では管理者、ユーザーのパスワードの設定ができます。

- **管理者パスワード**: 常に有効です。
- **ユーザーパスワード**
「設定」からユーザーを選択すると、パスワードを要求されます。
チェックを外すと無効になります。
パスワードは、誤って設定変更を行うことを防ぎますので有効にすることをお勧めします。

パスワードを変更する場合は、「編集」を選択し「OK」ボタンを押してください。

1. 「古いパスワード」に変更前のパスワードを入力
2. 「新しいパスワード」に新しいパスワードを入力
3. 「新しいパスワードの確認」に、再度新しいパスワードを入力

管理者パスワード、ユーザーパスワードともデフォルトは「1 2 3 4」です。

その他の機能

PIP: Picture in Picture (子画面表示)

一つのモニタで接続拠点映像と自拠点映像をオーバーラップさせて見ることができます。接続拠点映像が全面表示で、また、自拠点映像が子画面(PIP)としてオーバーラップ表示されます。リモコンの「SELFVIEW」キーを押すと画面を入れ替えることができます。

回線設定 (Line Management)

Line Management とは、メインで使用する回線の設定をおこないます。

設定方法

モニタ右側にある「Line 1」横のボタンを押します。ファンクションキーの「設定」を押し、Line Settings ページへ移動し、以下の情報を入力します。(管理者パスワード入力)

名前:システム名(発信先に表示されます)

- **Call Forward**: 転送機能の設定/解除
- **Forward all calls to**: 着信するすべての電話を転送/解除および転送先の番号を入力
- **If busy forward to**: 話中の転送設定/解除および転送先の番号を入力
- **If no answer in rings**: 不在時の呼び出し回数設定/解除および転送先の番号

!	転送先の番号を入力しないと、転送機能は起動しません。
---	----------------------------

技術仕様

<p>技術仕様標準準拠</p> <ul style="list-style-type: none"> ITU-T H.323 IP IETF-SIP(RFC3261) IP 画像 H.261、H.263++、H.264 音声 G.711、G.722、G.728、G.722.1Annex C LDAP H.350 *次期バージョン以降対応 データ T.120 MCU対応 H.243 *次期バージョン以降対応 <p>通信</p> <ul style="list-style-type: none"> 通信スピード IP 接続 64kbps～768kbps <p>映像</p> <ul style="list-style-type: none"> 最大フレームレート PAL 25 フレーム/秒 NTSC 30 フレーム/秒 画像解像度 FCIF 352 × 288 ピクセル QCIF 176 × 144 ピクセル SIF 352 × 240 ピクセル QSIF 176 × 120 ピクセル スナップショット対応 4CIF 704 × 576 ピクセル (H.263 Annex D) (静止画対応) 4CIF 704 × 480 ピクセル <p>音声</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>音声</th> <th>帯域</th> <th>ビットレート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>G.711</td> <td>300～3400Hz</td> <td>48/56/64kbps</td> </tr> <tr> <td>G.728</td> <td>50～3400Hz</td> <td>16kbps</td> </tr> <tr> <td>G.722</td> <td>50～7000Hz</td> <td>48/56/64kbps</td> </tr> <tr> <td>G.722.1</td> <td>50～7000Hz</td> <td>24/32kbps</td> </tr> <tr> <td>G.722.1AnnexC</td> <td>50～14000Hz</td> <td>24/32/48 kbps</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> エコーキャンセラ Full-duplex アダプティブポストフィルタリング オートゲインコントロール (AGC) オートマッチックノイズサブプレッション <p>内蔵マイク</p> <ul style="list-style-type: none"> フォーマット 4:3 デジタル 8ビット 画素数 542 × 548 ピクセル (PAL: 東日本) 542 × 496 ピクセル (NTSC: 西日本) 解像度 380TV ライン/470TV ライン ピント調整 手動 ホワイトバランス 自動 最低照明 0.5lux S/N 52dB 傾斜調整 手動 	音声	帯域	ビットレート	G.711	300～3400Hz	48/56/64kbps	G.728	50～3400Hz	16kbps	G.722	50～7000Hz	48/56/64kbps	G.722.1	50～7000Hz	24/32kbps	G.722.1AnnexC	50～14000Hz	24/32/48 kbps	<p>内蔵モニタ</p> <ul style="list-style-type: none"> タイプ TFT液晶ディスプレイ 16:9 256kカラー 大きさ 7インチ 解像度 800 × 480ピクセル <p>ネットワークインターフェース</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネット 10/100BASE-T 2 × RJ-45 PSTNアナログ <p>音声/映像インターフェース</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像入力 メインカメラ 内蔵 コンポジット(RCA) 映像出力 メインモニタ 7 インチ液晶 コンポジット(RCA) *次期バージョン以降対応 音声入力 マイク 内蔵 受話器(RJ-11) ライン(RCA) ヘッドセット(ステレオミニ 3.5mm) 音声出力 スピーカー 内蔵 受話器(RJ-11) ライン(RCA) ヘッドセット(ステレオミニ 3.5mm) <p>補助インターフェース</p> <ul style="list-style-type: none"> USB 2.0(A) master High Power Smart Card Reader SD、MMC <p>ユーザーインターフェース</p> <ul style="list-style-type: none"> 多言語メニュー表示 対応言語: 日本語、イタリア語、英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、ポルトガル語、ノルウェー語、フィンランド語、ロシア語、スウェーデン語、中国語、チェコ語、韓国語、ハンガリー語 ヘルプ機能 診断機能 接続状況モニタ <p>ハンズフリー機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 全指向性マイク内蔵 内蔵型スピーカー 8Ω 0.5W <p>暗号化通信対応</p> <ul style="list-style-type: none"> AES(H.233)、MD5(SIP) NIST (National Institute of Standards&Technology)設定 	<p>アドオン *日本語未対応</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットウェブブラウザ閲覧 (RSSリーダー機能搭載) E-mail 機能(IMAP、POP3) インスタントメッセージ対応 (Windows Live™ Messenger、Google™ Talk、Yahoo® MSG、IRC) ファイルマネージャー搭載 Photo Viewer 対応: wbm、jpg、ani、bmp、gif、ico、pcx、png、prn、ras、tga、xbm、tif、xpm、svg <p>電話機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声・映像ミュート 自動着信機能 DTMF(ブッシュ信号) LDAP による電話帳機能 短縮ダイヤル機能 リダイヤル機能 通話履歴 ・パルス/トーン回線使用(POTSのみ) <p>遠隔診断および管理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>自拠点</th> <th>ウェブブラウザ</th> <th>SNMP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セルフテスト</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>診断</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>設定</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>発信</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>エラー追跡</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>電源消費量</p> <ul style="list-style-type: none"> 最大 12V、2Amp <p>サイズ</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>幅</td> <td>30.3cm</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>28.0cm (カメラ開) 23.0cm (カメラ閉)</td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>10.0cm</td> </tr> <tr> <td>重さ</td> <td>1.95kg</td> </tr> </tbody> </table>		自拠点	ウェブブラウザ	SNMP	セルフテスト	○	○	○	診断	○	○	○	設定	○	○	○	発信	○	○	○	エラー追跡	○	○	○	幅	30.3cm	高さ	28.0cm (カメラ開) 23.0cm (カメラ閉)	奥行	10.0cm	重さ	1.95kg
音声	帯域	ビットレート																																																		
G.711	300～3400Hz	48/56/64kbps																																																		
G.728	50～3400Hz	16kbps																																																		
G.722	50～7000Hz	48/56/64kbps																																																		
G.722.1	50～7000Hz	24/32kbps																																																		
G.722.1AnnexC	50～14000Hz	24/32/48 kbps																																																		
	自拠点	ウェブブラウザ	SNMP																																																	
セルフテスト	○	○	○																																																	
診断	○	○	○																																																	
設定	○	○	○																																																	
発信	○	○	○																																																	
エラー追跡	○	○	○																																																	
幅	30.3cm																																																			
高さ	28.0cm (カメラ開) 23.0cm (カメラ閉)																																																			
奥行	10.0cm																																																			
重さ	1.95kg																																																			

トラブルシューティング

問 題	解 決 法
モニターに何も表示されません。	本体のスイッチが入っていることをご確認ください。モニターの底面にある電源ボタンを押すと電源が入ります。 問題がある場合、お買い求めになった販売店にお問合せください。
セルフビューで自分が見えず、映像が暗いです。	本体から引き上げた状態になっているのかご確認ください。 問題がある場合、お買い求めになった販売店にお問合せください。
相手に自分の音声が聞こえません。	マイクロフォンの近くに障害物がないことをご確認ください。 診断をご確認ください。 問題がある場合、お買い求めになった販売店にお問合せください。
インターフェースの LAN ポートの LED は点灯しているが、PING が通りません。	IP アドレスが競合していないかご確認ください。 問題がある場合、お買い求めになった販売店にお問合せください。
IP アドレスは正しいのですが、IP 接続ができません。	本体の電源が入っていることをご確認ください。 PING がシステムに届くことをご確認ください。 接続先、両システムのゲートキーパーの有効/無効をご確認ください。 問題がある場合、お買い求めになった販売店にお問合せください。
セルフビュー画像が白黒になり、上下に流れます。	以下のメニュー画面から映像標準 (NTSC または PAL) が正しく選択されていることをご確認ください。 設定 → 地域 (日本は NTSC)
自拠点から送信している映像が暗すぎます。	カメラに直接光が入っていないか、または逆光になっていないかご確認ください。

技術明細事項

動作および保管状態

動作温度	0°C ~ +40°C
湿度	10% ~ 93%(結露なきこと)
保管温度	-40°C ~ +70°C

参照事項(CE マーキングと信頼性テスト)

保管	EN 60068-2-1 Test Ab (IEC60068-2-1)
	EN 60068-2-2 Test Bb (IEC60068-2-2)
運搬方法	IEC 60068-2-32 Test Ed-Method 1 IEC 60068-2-64 Test Fdb (CEI 50-6/9)
オペレーティングコンディション	CEI 50-3 EN 60068-2-1 Test Ab (IEC60068-2-1) EN 60068-2-2 Test Bb (IEC60068-2-2) IEC 60068-2-14 Test Nb IEC 60068-2-56 Test Cb IEC 60068-2-6 Test Fc IEC 60068-2-31 Test Ec IEC 60068-2-32 Test Ed-Method 1 IEC 60068-2-64 Test Fdb(CEI 50-6/9)
EMC	EN 55022 EN 55024 EN 61000-3-2 EN 61000-3-3 FCC15
安全性	EN60950-1 (IEC 60950-1)
ネットワーク通信	FCC68